

※今回は「輝く島人インタビュー」は
お休みし、「島コンにゅーす」をお届け!

実績報告 ~1年間の移住相談者・移住決定者はどのくらい?~
昨年5月から発足した島コン。1年間の成果をご報告します。

移住相談対応数(2016年5月~2017年5月)

相談形式	件数
島外面談(移住フェアなど)	93
島内面談	47
メール、電話、スカイプ相談	32
合計	172

移住決定者数(2016年5月~2017年5月)



※島コンにお問い合わせを頂いた方の中からの
移住決定者数です。

総務省の広報誌に掲載されました!



総務省が発行している広報誌5月号の特集記事「地方のかがやき」で久米島が取り上げられました。「先端技術が生まれ、未来を担う人が育つ。海流の島で夢をつむぐ人々」と題し、久米島の紹介や特色ある取り組みが掲載されています。その中で、私たち島コンの活動も紹介していただきました。ぜひ読んでみてください。

※広報誌5月号は総務省のホームページから閲覧することができます。

出典:総務省HP

http://www.soumu.go.jp/menu_news/kouhoushi/koho/1705.html

住民活動を島コンが
お手伝い!

ドリー部チャレンジ! 活動報告
~町のみんなで住み良い町をつくろう!~

久米島プロガーズ

島ぐらし認定プロガーズの条件を決定! 主な条件は「島ぐらしに関する共通テーマで月1本の記事を書くこと!」6月から島コンHP「島ぐらしガイド」からリンク予定です!

ドリー部

第2次久米島町総合計画の取り組み発表会を計画! 行政の取り組みも、住民の取り組みもみんなで共有しながらみんなでまちづくりについて考えましょう!

くがに子育て

毎月第3土曜日or日曜日に「子育てカフェ」を運営。子育ての悩みやアイデアをお父さん、お母さん、子どもたちみんなでお茶を飲みながら楽しくおしゃべりします!

結の会

5月末に島内の結婚希望者を対象としたイベントを開催! 美味しい南国料理を囲みつつ、男女共に交流の輪が広がる楽しいイベントとなりました!

定住サポーターズ

移住してきた方が早く地域になじめるよう交流サークル「みーしまんちゅの会」を設立! みんなで畑作業を楽しむ「ハルサー同好会」も企画中です!

うまんちゅ活躍隊

島内のお困りごとをみんなで解決する仕組みづくりを目指します! まずは困りごとやできることの情報収集の方法として目安箱を設置しようと準備を進めています。

お問合せ

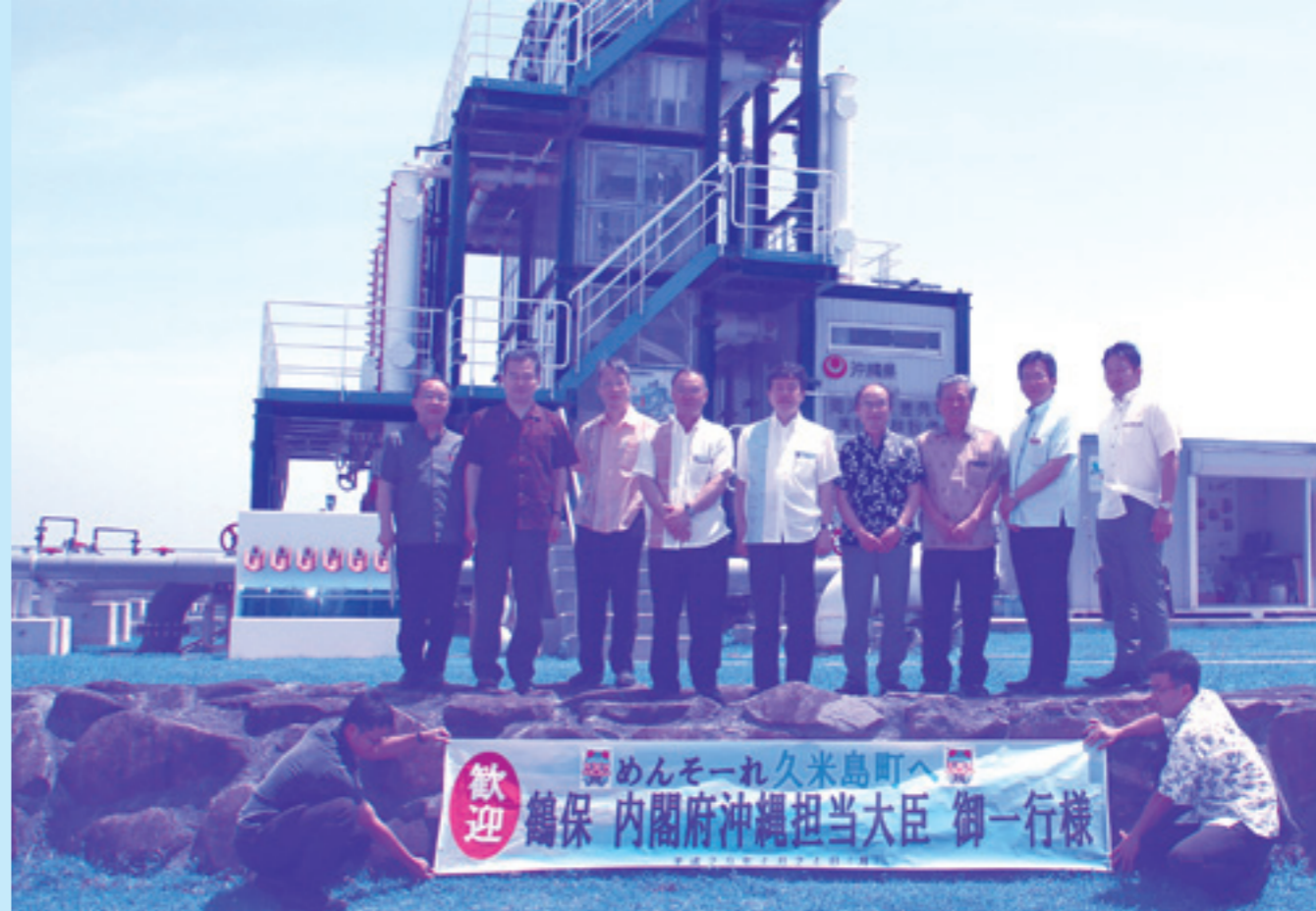
企画財政課 移住定住相談窓口 「久米島 島ぐらしコンシェルジュ」

HP: <http://www.shimagurashi.net> 「久米島 島ぐらしガイド」で検索
活動場所: 仲原家(久米島町字真謝20) / 毎週火~土 10時~16時 / 土日祝休み
Tel/Fax: 098-894-6488 Mail: info@shimagurashi.net
Facebook: 「久米島 島ぐらしコンシェルジュ」
Instagram: 「kumejima_shimagurashi」



鶴保庸介内閣府沖縄担当相

久米島視察



久米島町へ 鶴保 内閣府沖縄担当大臣 御一行様

鶴保庸介内閣府沖縄担当相が4月24日、久米島を視察し、久米島高校魅力化事業や「久米島モデル」の実現に取り組み海洋深層水関連施設などを視察しました。

久米島高校魅力化事業の視察では、じんぶん館と久米島高校を訪れ、関係者から事業の概要や各担当の取り組み状況の説明を受けました。久米島高校では、前三盛英明校長や教職員のほか、離島留学生9人(3年)らと意見交換を行いました。生徒らは、久米島高校を選んだきっかけなどの質問にもお答えし、ハキハキと答えていました。

県海洋深層水研究所では施設の



概要、海洋温度差発電の研究や意義などについて説明を受け、海ぶどう養殖場や化粧品製造、牡蠣陸上養殖施設を視察しました。

その後、イーフビーチホテルで「島のゆんたく in 久米島」と題し、島内企業や教育関係者らと意見交換を行いました。「持続可能な島の暮らしと産業」をテーマに参加した産業や医療、教育などの関係者らは、地域振興に取り組む際に直面する課題等を訴えました。



生産量日本一のクルマエビ養殖場を視察

海ぶどう養殖場を視察